

◆台風を知る

高潮を起こす最大の要因「台風」について知っておきましょう。

●台風の発生

熱帯から亜熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、北大西洋または、東シナ海に存在する「熱帯低気圧」のうち、最大風速が毎秒約 17m 以上に発達したものを「台風」と呼びます。台風は 1 年間に平均約 25 個発生し、そのうち約 12 個が日本に接近し約 3 個が日本に上陸します。近年地球温暖化の影響により、日本に接近する台風が大型化し、勢力も強くなっています。

●台風の経路

●春先は、低緯度で発生し、フィリピン方面に進みます。

●夏には発生する経度が高くなり、太平洋高気圧のまわりを沿って日本に向かって北上します。8 月は台風の発生数が年間で最も多い月ですが、偏西風が弱いため、不安定な経路になる場合があります。

●太平洋高気圧のまわりを沿って北西に進んでいた台風は 9 月以降、偏西風の影響を受けて北東ないし東に進み、放物線を描くように日本付近を通ります。このとき、秋雨全線の活動を活発にして大雨を降らせることがあります。室戸台風や伊勢湾台風など、日本に大災害をもたらした台風の多くは、9 月にこの経路を通っています。

●台風の強さ

強い台風

最大風速 33m/s 以上
44m/s 未満

小石が飛び散り、
一部の木造家屋は倒壊する

非常に強い台風

最大風速 44m/s 以上
54m/s 未満

木造家屋の多くは倒壊し、
樹木は根こそぎ倒れる。

猛烈な台風

最大風速 54m/s 以上

鉄塔等が曲がる

●気象庁が発表する台風情報

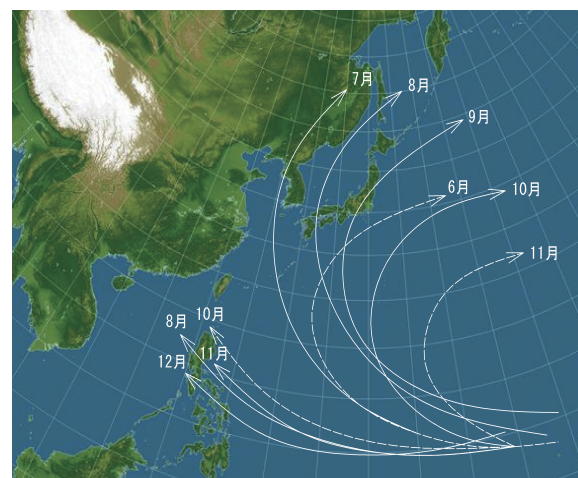
●気象庁は、日本に影響のある台風の場合は、早い段階から、24 時間先までの 12 時間刻みの予報と 5 日先までの 24 時間刻みの予報を発表します。さらに台風が日本に接近し、影響のある場合には、台風の位置や強さなどの実況と 1 時間後の推定値、24 時間先までの 3 時間予報を発表します。



- 予報円（白の破線の円）
70%の確率で台風の中心が入る範囲
- 暴風警戒域（赤の囲み）
暴風域に入るおそれのある範囲
- 暴風域（赤い円）
平均風速 25m/s 以上の風の範囲
- 強風域（黄色い円）
平均風速 15m/s 以上の風の範囲

台風の月別経路

(実線は主な経路、破線はそれに準ずる経路)



●台風の大きさ

